

## 2020年度学校関係者評価報告書

エール学園  
学校関係者評価委員会

エール学園学校関係者評価委員会では2020年度自己点検・自己評価表に基づき学校関係者評価を行いましたので、以下のように報告致します。

## 1 学校関係者評価実施概要

## ① 学校関係者評価委員名簿

氏名	所属	属性
吉水 雄一	株式会社OSコンサルティング 代表取締役	企業・業界団体関係者
原田 智樹	株式会社アーストレック 代表取締役	卒業生 企業・業界団体関係者
牧 文彦	NPO 法人ディープピープル 理事長	企業・業界団体関係者
中澤 修	株式会社ケイティエス 常務取締役	卒業生保護者
内山 雅文	大阪 YMCA	在校生・卒業生の出身学校

## ② エール学園参加者

氏名	所属	属性
長谷川 恵一	エール学園 理事長	法人代表者
萩原 大作	エール学園 校長	学校代表者
木村 多恵子	エール学園 常務理事	学生募集・学生支援責任者
木田 明美	エール学園 副理事長	法人本部事務責任者 事務局担当
豫城 聖子	エール学園 キャリ教育事業本部 本部長	専門教育学科運営責任者 就職対象学科教務運営担当者
西村 康司	エール学園 キャリ支援室 室長	就職支援関係担当者
崎村 真	エール学園 キャリア教育事業本部 応用日本語教育事業本部 日本語教育 事業本部担当 常務理事	日本語教育学科運営責任者
任 滸龍	エール学園	卒業生 同窓会会長

③ 学校関係者評価委員会次第

学校関係者評価日程		
日 時：2021年9月6日（月） 15時30分～17時30分		
場 所：エール学園5号館8階 803教室（Zoomにて）		
会議名：エール学園学校関係者評価委員会		
会議次第		
時間	項目	担当者
15時30分	1. 開会挨拶	長谷川理事長
15時40分	2. 委員紹介	事務局
15時50分	3. 2020年度自己評価結果全体について ・自己評価結果概要説明 ・専修学校における学校評価ガイドラインに基づく評価の大項目別の概要説明 ・各学科の活動状況報告及び進路状況について	学校側各担当者
16時45分	4. 質疑応答／意見交換	各委員より発言
17時05分	5. 結果とりまとめと公表計画について	事務局
17時20分	6. 閉会挨拶	萩原校長
参考資料		
1 2020年度エール学園自己点検・自己評価結果報告書		
2 学校パンフレット一式		
3 新年度学則（2021年度学則）		
4 学科別在籍状況及び卒業及び進路状況資料		
5 2020年度財務状況資料 決算概要		
6 その他の資料		

2 外部委員より頂いた意見・評価

評価項目	評価・意見
教育目標と重点目標	教育目標と重点目標へ向かった成果がうかがえる。  なりたい自分、つくす自分という教育理念と重点目標が掲げられていますが、抽象的に終わるものではなく、具体的で実効性のあるものとなっています。

	<p>「なりたい自分とつくす自分」の目標で他社への配慮があるのが良い。又「平和の使者の送り出し」という新目標も判りやすい。SDGSな社会を作り出す人材の育成も進めてもらいたい。</p> <p>コロナ禍で企業経営に影響があり就職は非常に流動的な年度であったが157名の就職決定、そして例年より特定活動ビザを取得する学生が多い中でも62.5%の就職(9月7日時点)を実現するなど学生の期待に結果で応えている。また難関大学への入学率は経営目標に対して6割と進学制度の変更にあわせて学生の期待に応える結果も評価できる。今後は更にこれまで投資を進めてきたITインフラをDXとして教育課程に応用する目標を持ち、今後の具体的運用に注目したい。</p>
<p>基準1 教育理念・目的・育成人材等</p>	<p>理念表出が常に意識化されている。</p> <p>教育理念、教育の目的、教育人材像は明確に定められており、時代の変化に対応して見直され、これからの時代に求められる学園の在り方が示されていると思われます。</p> <p>理念が時代に対応して作られるのが良い。メンタリング教育を進めて、その成果の見える化と、日本での普及を進めてもらいたい。</p> <p>同校教育の大きな特徴でもあるメンタリング教育が一層進化・浸透し、教職員、外部講師が共通した教育意識を持ち学生に一貫した価値観を持ち教育を行うことで学生もすべての講義で共通の理念を共有でき、ブレのない教育環境で学んでいることは他校にはない特徴と考える。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>計画的</p> <p>運営方針、事業計画が職員に共有され、特に個人目標を最重要テーマとするなど、目標を達成できるような仕組みを作って運営されています。</p> <p>運営の基本となる入学生数を達成している。 コロナ禍で、入学できない生徒がいるにもかかわらず(1475名(前年—25人))と健闘している。</p> <p>コロナにより外国からの新規入学が規制されている中で、2022年度以降の募集が課題となっているが、より意欲の高い優秀な学生への間口を広げべく奨学金制度も導入している。特に昨今では経費支弁者と信が留学ビザの障害となる現状もあり、JASSO奨学金制度の活用を積極的に促すなど外部公的機関との連携、また企業奨学金を検討するなど、意欲的な学生に対する門戸を広げる運営を行っていることは多くの学生の期待に応えている。</p>
<p>基準3</p>	<p>理念と社会ニーズのマッチングを積極的に実践されている。</p>

<p>教育活動</p>	<p>それぞれ特徴を持った多彩な学科が設けられ、工夫したカリキュラムが提供されており、各学科とも時代や国際環境、業界のニーズに向けた教育活動が行われていると思います。</p> <p>コロナ禍で、リモートのオンライン授業が進み、対面と変わらず効果が出ている。DXの深堀も進んでいる。</p> <p>コロナ禍で同校の特徴となっている企業インターンシップ、地域ボランティア活動が制限されている中で、学外教育活動については大きな制約を受けている。一方で就職後の卒業生の状況を確認することで、改めて卒業生就職先企業と学園コネクション、そして同校が目指す留学生による日本と諸外国との「平和の使者」となる事例が着実にみられ、卒業生の活躍が、コロナ終息後には同校在校生への就職の機会となるインターンシップ機会の創出につながると考えている。</p>
<p>基準4 教育成果</p>	<p>アウトプットにとらわれずアウトカム重視がうかがえる。</p> <p>高い就職率や国公立大学・大学院への進学など大きな実績をあげています。メンター（担任）を配置するなど、就職、進学とも、学生へのサポートを行う体制が整えられていると思います。</p> <p>東大京大阪大4名合格、他の国立大学59名合格は良である。 就職者も例年100%に近いが、コロナ禍で10名が未就職だが、卒業後も面倒を見ているのは評価大である。（現在残り6名とのこと）</p> <p>コロナ禍にあり就職者人数が157名と例年よりは低く、特定活動ビザ取得学生も16名と例年の数名と比較すると多く、例年以上に卒業生へのフォローが求められる中、16名中10名は9月上旬時点で就職が決定している。卒業後の学生への就職へのコミットも結果を以て行っていることは高く評価できる。また進学についても入試形態が流動的になる中でも大学入試形態にあわせて対応したことで難関大学への進学実績は上記のとおり結果を残していることで学生の留学期待に結果で応えている。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>コロナ禍において対応がなされている。</p> <p>就職指導、進学指導、生活指導、それぞれに専門人材が配置され、サポートが充実しています。奨学金制度など経済的な支援体制、健康面の支援体制も整備するなど、きめ細やかな支援が行われていると思います。</p> <p>アルバイトの世話から、寮の設備等良く対応されている。</p> <p>コロナ禍で、学生への貸付制度があり良。（20万円—200人利用） 学生のアルバイト先での感染（延70名。クラスター無し）を減らすため、アルバイト先を厳しく吟味して学生に勧めてほしい。</p>

	<p>学生間でも残念ながらアルバイト等でのコロナ感染が増える中でも、校内ファシリティ（空き部屋）を活用し、集団生活をしている学生にとって安心して生活できる環境を提供するなど、学生が最も懸念しているコロナ対策について生活面でしっかりと支援していると評価できる。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>ともすれば教育環境としては好ましくないと捉えられがちな繁華街という地域性を、逆に優位性として生かしている。</p> <p>全教室に ICT 設備を導入するなど最新の教育環境に配慮されています。就職系学科では企業インターンシップが実施され、ハード・ソフトの両面で教育環境が充実しています。</p> <p>全教室に ICT 設備が導入されており、充実している。 コロナ禍で、学生のワクチン接種も 10 月末には、希望者には行きわたるとのこと。コロナ禍でメンター制度は効果的である。</p> <p>緊急事態宣言が頻発される中で、ハイブリッド講義と全面オンライン講義と抗議環境が流動的になる中で、学生への感染リスクを徹底的に軽減する教育環境を構築している。また講師も感染リスクを懸念した場合は、自宅からのオンライン講義に臨機応変に対応するなど、学生、講師とも講義に集中できる教育環境を構築していることは高く評価できる。</p>
<p>基準7 学生募集と受け入れ</p>	<p>コロナ禍としては堅調である。</p> <p>海外のエージェントや海外のトップレベルの大学との連携、国内の日本語学校との関係を強化されるなどして、レベルの高い学生の募集が行えています。</p> <p>海外トップ大学との提携も進み（10 大学）、WEB 出願の体制も出来てきて良である。</p> <p>2020 年には一部レジデンストラックによる入国許可があった以外は新規入国が規制されている中で、同校にとって大きな経営課題である。ただ従前より同校は ASEAN 大学との連携、学生交流を強化しており、2021 年はベトナムの大学と正規講義契約を締結するなどベトナム国内に限っても 10 大学と提携を進めており、入国制限が緩和された際には、ASEAN 大学との連携が同校への入学動機につながると考え、常に投資を行う経営が有事の際に価値を発揮していると考えます。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>新型コロナウイルスの影響があったが、学園全体としては収入減を最小限に抑えることができ、黒字とのこと、健全で安定した財政状況と思われます。</p>

	<p>実質無借金経営であり、収支差額 10%を続けており、健全経営である。</p> <p>ここ 10 年は黒字経営を続け、2018 年度は負債ゼロを達成し学校経営としては安定している。また 2024 年度に新専門学校の新設を計画するなど教育環境の投資にも積極的でそれに叶うフリーCF を備えている。ただコロナにより 2022 年度からの海外からの新規学生入国規制が緩和されるかどうかには今後留意が必要と考えている。コロナ以前から進めてきた DX 化により業務効率 UP 以外にもコスト削減経営体質になっていることから、コロナ終息後、入国規制緩和後は財務の一層の安定化につながると考える。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>留学生の在籍管理に力を入れ、「在籍管理適正校」の認定を受けるなど、高い評価を得られています。また教職員の労働環境の改善にも努められています。</p> <p>学生の多国籍化にも良く対応して、又留学生の「在籍管理適正校」の認定を法務省から得ている。</p> <p>大阪市「女性活躍リーディングカンパニー認証」、大阪府「男女いきいき・元気宣言事業者登録」などダイバシティー経営を徹底し、他学校の規範となっている。また「在籍管理適正校」認定も入国在留管理庁よりも受けており、経営・学生与信ともしっかりと法令に順守している。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>積極的に外部との繋がり、連携、協働がはかられているがコロナ禍で制約がある。</p> <p>エシカル消費の推進や取り組みの表出に努めてほしい。</p> <p>地域からの通訳・翻訳の要請への協力、地域貢献型インターンシップの実施、ボランティア活動、企業や団体との連携・交流など様々な取り組みを行っており、地域からの信頼を得られています。</p> <p>コロナ禍で、ボランティア活動はほとんど出来ない状況であるが近隣の難波中公園の清掃（月 2 回）は続けている。</p> <p>コロナ禍にあり社会貢献として同校が価値としている地域ボランティアも制限されている中で今できることとして「難波中公園の月 2 回清掃」を継続するなど、制限環境下でできることを考え、継続的に実践している姿勢は同校の理念を学生、教職員とも理解浸透している証左であり社会貢献は同校の最大の特徴と考える。</p>

### 3 まとめ

エール学園では、自己点検・自己評価とそれに基づく学校関係者評価での意見・評価を今後の学校運営の改善に活かす努力を続けるべく、ここにこの結果を公開致します。

また、継続的に自己点検・自己評価→学校関係者評価のPDCAサイクルで教育の質向上に努力する所  
存です。

以上